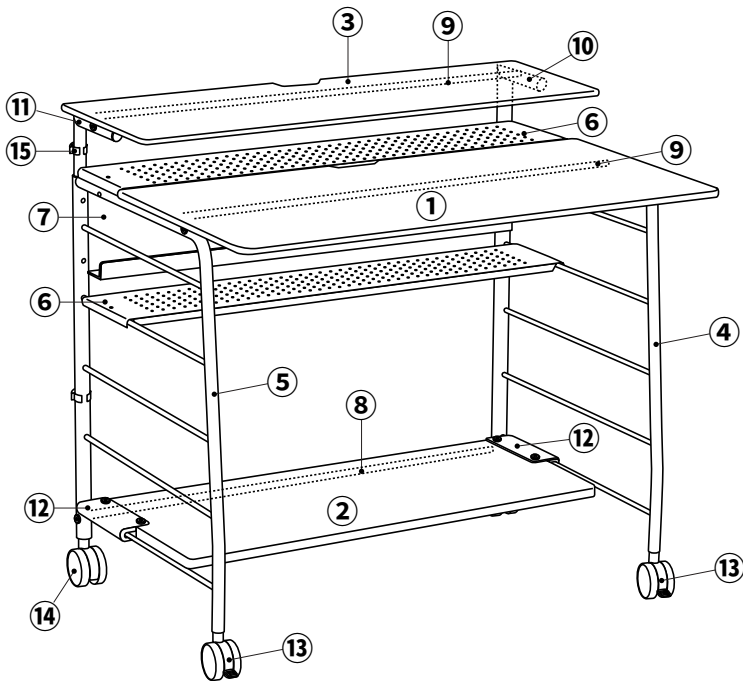


パソコンラック
取り扱い説明及びパーツリスト

MLXD-90HDW
MLXD-90HWH

●梱包を開梱して、各パーツが部品一覧通り揃っているかお確かめ下さい。

完成図



部品名称一覧表

記号	部品名称	数量	小さなパーツ
①	天板	1	
②	スライドパネル	1	
③	オーバートップパネル	1	
④	サイドフレーム(右)	1	
⑤	サイドフレーム(左)	1	
⑥	棚板	2	
⑦	バックパネル	1	
⑧	バックフレーム	1	
⑨	補強フレーム	2	
⑩	オーバートップフレーム(右)	1	
⑪	オーバートップフレーム(左)	1	
⑫	スライドパーツ	2個	
⑬	キャスター(ストッパー有)	2個	
⑭	キャスター(ストッパー無)	2個	
⑮	ケーブルホルダー	2個	
⑯	スペーサー	2個	

間違い易いパーツ

バックフレーム⑧と補強フレーム⑨

バックフレーム⑧は塗装、
補強フレーム⑨はメッキ仕様です。

サイドフレーム(右)④とサイドフレーム(左)⑤
フレーム側面のくぼみが左右対称です。

(左)

(右)

【上面図】

オーバートップフレーム(右)⑩とオーバートップフレーム(左)⑪
フレーム側面のくぼみが左右対称です。

(左)

(右)

【上面図】

ネジ類・付属工具一覧表

A	ボルト (M6×25mm)	B	ボルト (M6×15mm)
12本		12本	
C	ボルト (M6×35mm)		
2本			
D	ナット (M6×17mm)	付属 工具	六角レンチ
8本		1本	付属 工具
			スパナ

組み立て前にお読み下さい

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして
誠にありがとうございます。
本製品を組み立てる前に、必ず別紙「安全上のご注意」と
下記内容をご覧ください、正しく組み立て・ご使用
されますようお願い致します。

- 軍手などで保護してから組み立てて下さい。
- 組み立ての際は、手や指を挟まないよう十分ご注意ください。
- 組み立て手順に従い、各部品をしっかりと固定して下さい。
締め付け・かみ合わせが緩いと危険です。
- 組み立て時は床などを傷付けないよう、十分にご注意下さい。
- 定期的にボルトやキャスターの締め直しを行って下さい。
緩んだまま使用されますと、転倒・崩壊の可能性があります、
非常に危険です。

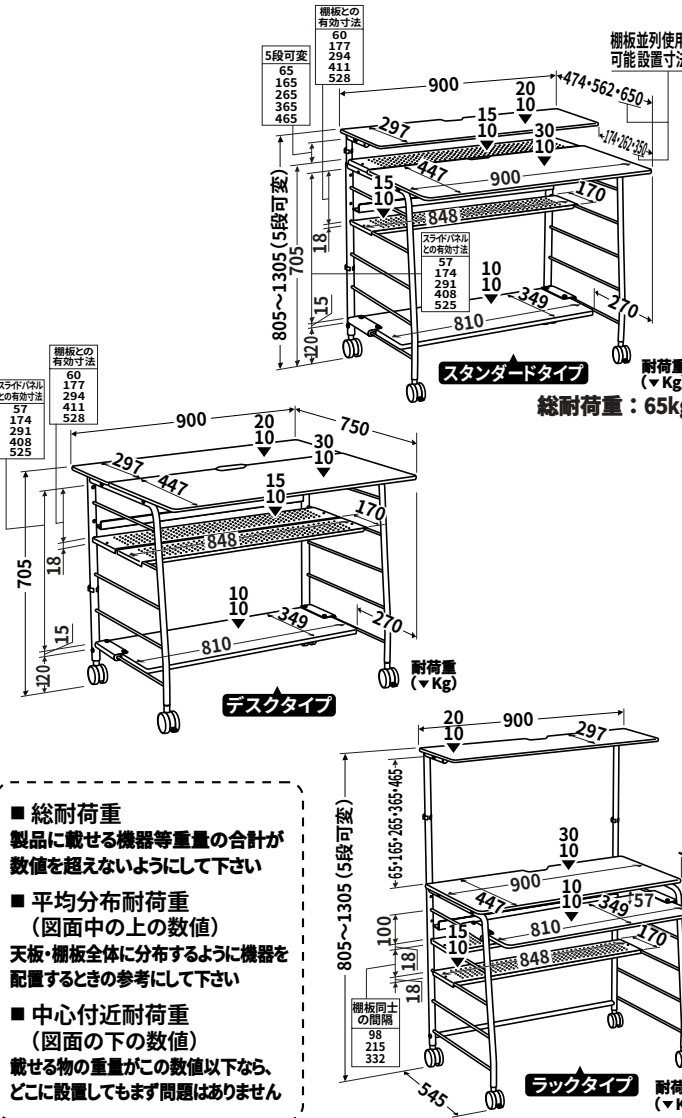
ヘルプ

- Q. 天板や棚板が留められない！
A. 前の行程でボルトを強く締めてしまうと、後の行程でボルト穴が少々ずれ、留めにくくなる時があります。
前行程に戻りボルトを緩め、取り付けできなかった部品を再度取り付けて下さい。
- Q. ボルト穴等の加工がない！
A. 形状がそっくりでも、加工が異なる部品が複数入っている場合があります。本誌「間違え易い部品」に区別の方法が載っていないかご確認ください。
- Q. 汚れてしまったんだけど、お手入れはどうすればいいの？
A. 日常のお手入れは、やわらかい布でから拭きして下さい。
A. ひどい汚れを落とす場合は、うすめた中性洗剤を使用して下さい。
注…シンナー系の溶液を使うと、色が落ちたり表面の塗装がはがれ、変色の原因になりますので絶対に使用しないで下さい。

説明書内マーク一覧

- 注** このマークのある組み立ては、特に気を付けて行って下さい。
- ?** 組み立てが難しいところや、よくある質問に対する返答を本説明書「ヘルプ」の欄に掲載しております。ご参照下さい。
- 付属工具** 付属工具を使つての組み立てがあります。
- ドライバー** ドライバーを使つての組み立てがあります。
- 2人組立** 2人以上で作業を行つて下さい。
- 左右共通** 組み立てに左右共通のパーツを使用します。
- 左右有り** 右用と左用で組み立てに使用するパーツ形状が異なります。取り付け間違えないようお気を付け下さい。

寸法図・耐荷重



- 総耐荷重
製品に載せる機器等重量の合計が数値を超えないようにして下さい
- 平均分布耐荷重
(図面中の上の数値)
天板・棚板全体に分布するように機器を配置するときの参考にして下さい
- 中心付近耐荷重
(図面中の下の数値)
載せる物の重量がこの数値以下なら、どこに設置してもまず問題はありません

商品に関するお問い合わせは ●エレコム総合インフォメーションセンター
TEL.03-5337-3024

受付時間
9:00～12:00 13:00～18:00
年中無休

エレコムFAXテクニカルサポート
FAX.03-5500-2881
受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00
月曜日～金曜日(祝・祭日を除く)

組立説明

ご用意いただくもの… **プラス・マイナスドライバー** **軍手** (組み立て時のケガを防ぐために、必ず着用して下さい。)

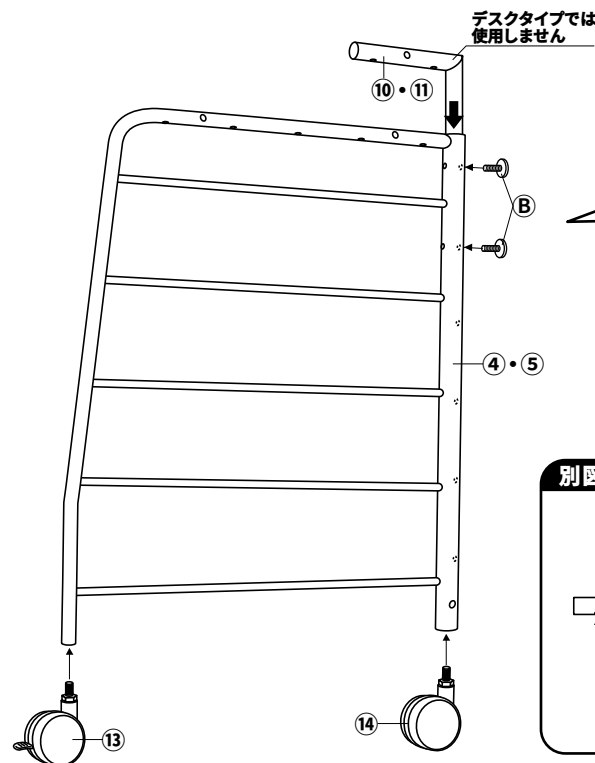
1

I. キャスター(ストッパー有)⑬、キャスター(ストッパー無)⑭を図の位置に取り付けます。

注 組立前に、これから組み立てを行うタイプがどれなのか、行程⑦を見てご確認ください。

スタンダード・ラックタイプ II. オーバートップフレーム(右)⑩をサイドフレーム(右)④に、オーバートップフレーム(左)⑪をサイドフレーム(左)⑤のお好みの高さに取り付け(仮止め)ます。

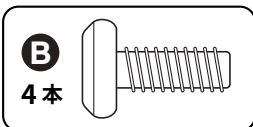
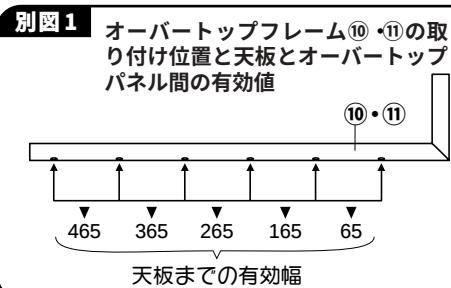
デスクタイプ II. サイドフレーム(右)④・(左)⑤のオーバートップフレーム取り付け穴にナット①を使ってボルト⑧を取り付けます。



デスクタイプでは
使用しません

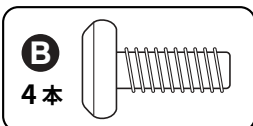
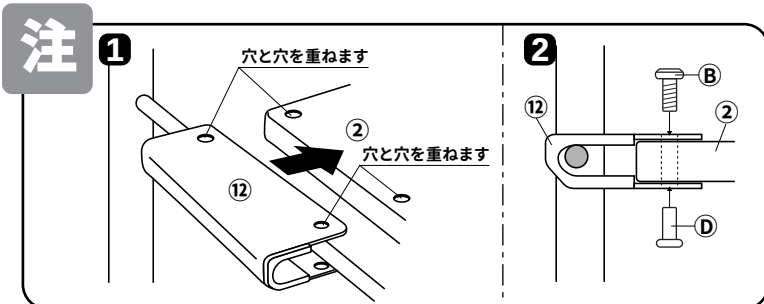
デスクタイプ組み立て

ナット①を内側から差し込み
ボルト⑧を3mm程度隙間を空
けた状態で取り付けます。



3

サイドフレーム④・⑤のお好みの高さの横棒に、
スライドパーツ⑫を使ってスライドパネル②を取り付けます。



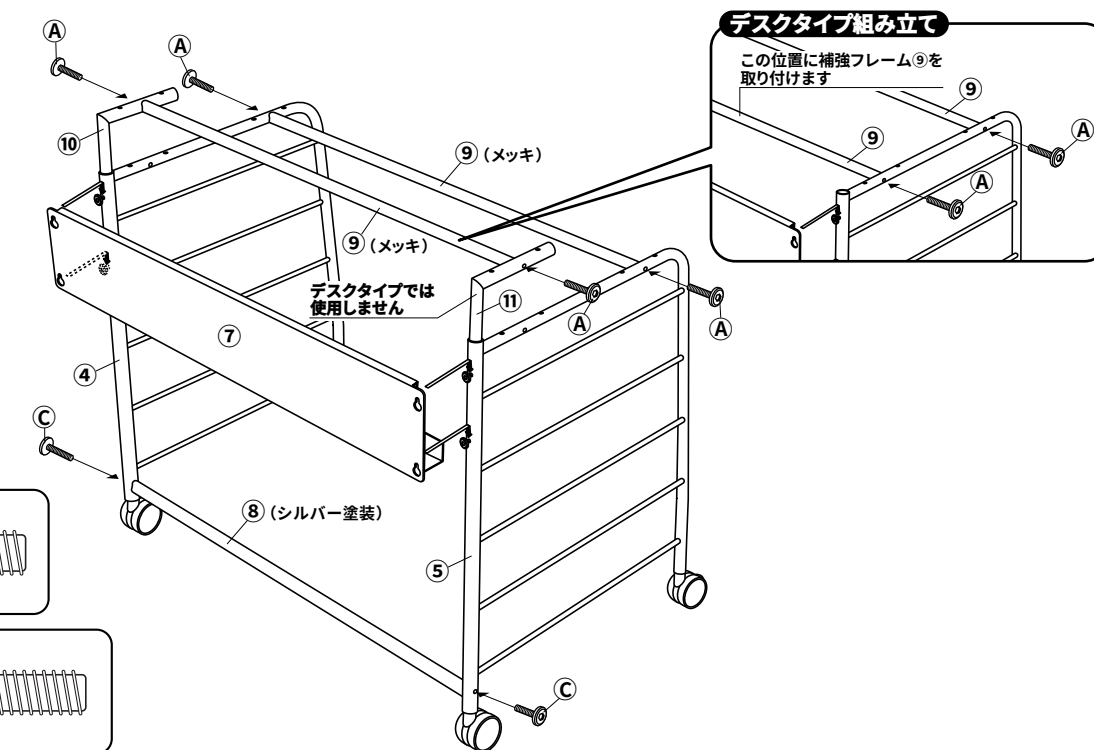
2

I. バックパネル⑦を図の位置のボルトに引っ掛けボルトを軽く締めます。

II. バックフレーム⑧(シルバー塗装)を図の位置に軽く取り付けます。

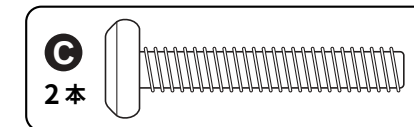
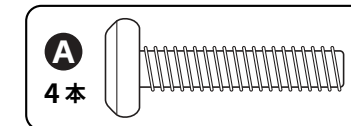
III. 補強フレーム⑨(メッキ)を図の位置に軽く取り付けます。

注 デスクタイプでは補強フレーム⑨の取り付け位置が異なりますので、**デスクタイプ組み立て**を参照して下さい。



デスクタイプ組み立て

この位置に補強フレーム⑨を
取り付けます

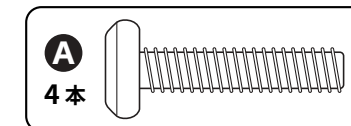


4

天板①をサイドフレーム④・⑤にボルトAで取り付け(仮止め)ます。
※組立中のタイプに合わせて、下記一覧表 ▲印の位置を仮止めして下さい。



	天板①	オーバートップ フレーム
ラックタイプ		
スリムタイプ		
デスクタイプ		

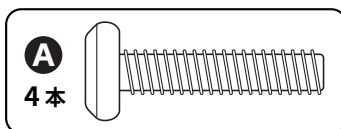
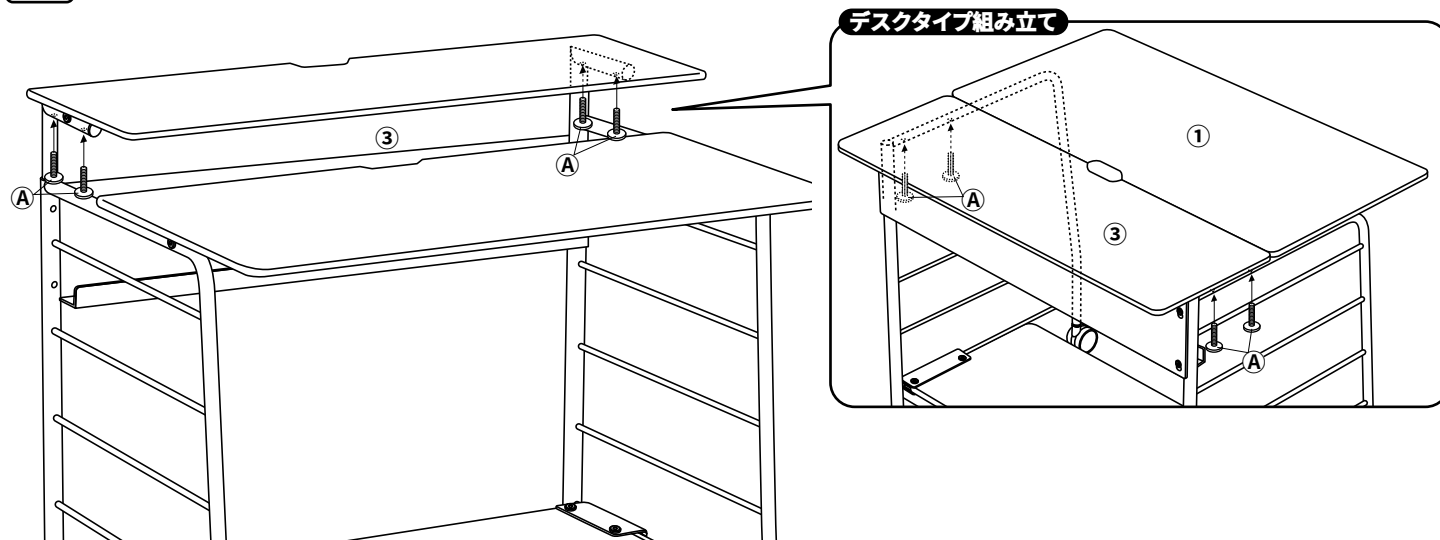


組立説明

ご用意いただくもの…  プラス・マイナスドライバー  軍手 （組み立て時のケガを防ぐために、必ず着用して下さい。）

5

- I. オーバートップパネル③を取り付け（仮止め）します。
- II. 仮止めしておいた全てのボルトを締め付けます。



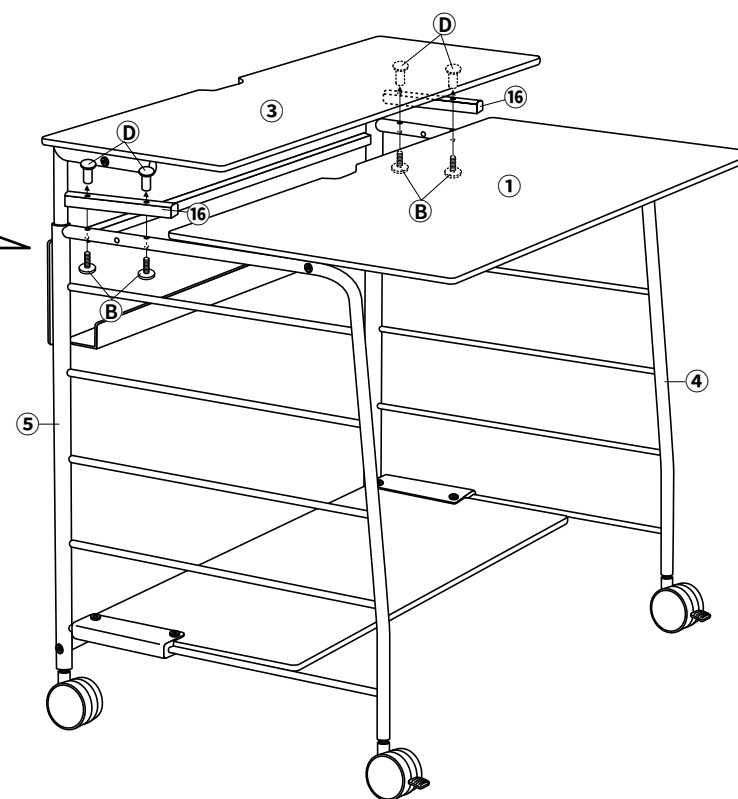
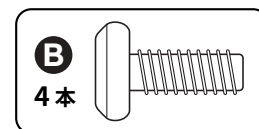
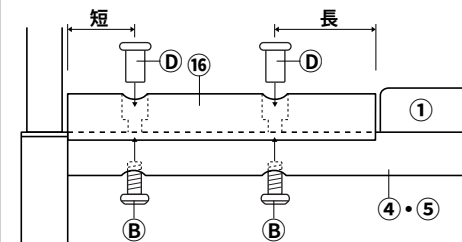
6

- スタンダード・ラックタイプ
スペーサー⑩をナット④とボルト⑤を使い、サイドフレーム④・⑤の図の位置に取り付けます。



注

スペーサー⑩には前後があります。図のように取り付けて下さい。



7

- I. 棚板⑥をお好みの高さの横棒に引っ掛けます。
- II. サイドフレーム④・⑤もしくは、オーバートップフレーム⑩・⑪にケーブルホルダー⑮を取り付けて組立完了です。

注 スタンダードタイプでは棚板を行程⑥で取り付けしたスペーサー⑩の上に設置して下さい。

